

## 生成 AI サービス提供業務 仕様書

### 1 目的

社会構造の複雑化や行政需要の高度化・多様化に伴い、本市においても、限られた人的資源の中で持続的に行政サービスを提供するため、デジタル技術を活用した業務改善と事務処理の省力化が求められている。

本業務は、生成 AI を活用することにより、職員の事務処理負担の軽減、業務の生産性向上及び行政サービスの質の向上を図ることを目的とする。

あわせて、生成 AI の利活用状況の可視化や、職員間で活用事例・ノウハウを共有できる環境等を整備し、全庁的な生成 AI 活用の定着を図る。

### 2 契約期間

契約締結日から令和 8 年 7 月 31 日まで

### 3 サービス利用期間

令和 8 年 7 月 1 日から令和 9 年 6 月 30 日まで（12 か月）

### 4 業務内容（概要）

受注者は、本仕様書に基づき、以下の業務を実施すること。

- LGWAN 環境下で利用可能な生成 AI サービスを提供すること
- サービスの利用に必要な初期設定、利用環境の提供を行うこと
- 管理者及び利用者向けの運用・サポートを行うこと

### 5 生成 AI サービスの仕様

#### （1）基本構成

- 生成 AI を中核機能とするクラウド型サービスであり、庁内にサーバ等の構築を必要としないこと
- Web ブラウザ（Microsoft Edge 及び Google Chrome）を用いて利用できること
- Windows11 及びメモリ 8GB 以上のクライアント端末で利用できること
- クライアント端末への特別なソフトウェアインストールを必要としないこと
- LGWAN 環境からの利用が可能であること
- 利用者において大規模言語モデルを切り替えて利用できること
- 大規模言語モデルの進化に応じて、継続してアップデートを実施し、最新の大規模言語モデルが利用できること

- 利用者が当該サービスへ入力する指示文（プロンプト）について、地方公共団体において入力頻度が高いと考えられるプロンプトを容易に利用できるようなしたテンプレート機能を活用できること。また、テンプレートは独自に追加ができること
- テンプレートは組織内で共有できること
- ログインにあたり、メールアドレスを必須としないこと
- ドキュメント（Word、Excel、PowerPoint、PDF 等）を添付してプロンプトを送信できること

## （2）生成 AI 機能

- 職員が自然文を入力し、生成 AI が応答するチャット形式の UI を有すること
- 独自の複数のドキュメント（Word、Excel、PowerPoint、PDF 等）をアップロードし、活用できる RAG（検索拡張生成）機能を利用できること
- RAG 機能を利用した場合はドキュメントの参照元がわかること
- アップロード可能なドキュメント数は全体で 10,000 以上であること
- RAG は複数作成できること
- 合計 50MB 程度のドキュメントを 1 つの RAG に登録可能であること
- 格納フォルダは複数作成できること
- 複数の生成 AI モデルを切り替えて利用できること

### <月間利用可能文字数>

- 本サービスにおいて利用可能な生成 AI の月間処理文字数は、GPT-4o 相当のモデルを基準として、90,000,000～100,000,000 文字／月以上とすること（1回あたり 約 2,000 文字程度の質問及び回答生成を、1 か月あたり 約 45,000～50,000 回程度実施することを想定するものとする）
- 上記文字数には、利用者による入力（質問）及び生成 AI による出力（回答）の双方を含むものとする

## （3）職員向け情報共有機能

- 生成 AI の業務活用に関連する情報共有や意見交換を行うため、職員同士がテキストベースでコミュニケーションを行えるチャット機能等を有する、または他サービスと組合せて提供できること

## （4）ダッシュボード・管理機能

- 管理者向けに、生成 AI の利用状況を把握するため、利用状況の可視化を行うダッシュボード機能を有すること
- 利用者別、用途別等の生成 AI の利用状況や利用傾向を可視化できること

- サービスの利用状況に基づき、業務ごとの業務削減効果等が定量的に算出され、管理者が確認できること
- ダッシュボード上で確認可能な情報について、CSV 形式等のデータとして出力できること

#### (5) ユーザ管理

- 利用者アカウントとは別に、複数の管理者アカウントを利用できること
- 管理者アカウントにおいて、利用者が利用可能な大規模言語モデル、生成 AI、チャット及びダッシュボード機能の利用範囲や権限を制御できること
- 管理者アカウントにおいて、利用者の利用ログを確認できること。利用ログの内容は、利用者、利用日時、入力内容等の利用状況とし、条件を指定して CSV 形式等のデータとして出力できること
- 職員アカウントの登録、削除及び権限管理が行えること。異動期等の大量更新を想定し、CSV 形式のファイルによる一括登録・一括更新など、管理者の負担軽減に配慮した仕組みを有すること
- アカウント数は 8,000 名が利用できること。また、同時に利用できる人数は 3,000 名以上とすること
- 所属単位等での共用アカウント運用を行う場合においても、同一アカウントによる同時ログイン時にサービスを利用できる仕組みを有すること

#### (6) 認証資格

- ISO/IEC 27001 認証または ISO/IEC 27017 認証を取得している者が運営するサービスであること

### 6 セキュリティ要件

- 本サービスに入力された情報や生成 AI の出力結果が、生成 AI の学習に利用されないこと
- 不正アクセス防止、通信の暗号化等、十分なセキュリティ対策が講じられていること
- 本市が本サービス上で入力又は生成したデータについては、本サービスの利用期間終了後、おおむね 1 か月程度保存された後、本市の求めに応じて速やかに消去されること。

### 7 運用・保守・サポート

- 管理者及び一般利用者からの問合せに対応するサポート体制を有すること
- 利用開始時に、管理者向け及び一般職員向けのマニュアル又は説明資料を提供

すること

## 8 説明会・研修

- 生成 AI の基本的な知識、提供するサービスの機能および利用方法等について説明会を2回（各回2時間程度）実施すること
- 行政業務における具体的な活用事例を踏まえた、実践的な研修を実施すること
- 説明会および研修の内容について、後日視聴できるよう録画し、動画データを本市へ提供すること。また、提供された動画は、職員向け動画研修としてアーカイブ利用できる品質とすること

## 9 利用料金体系

- 利用料金は、生成 AI 機能及び付随するコミュニケーション機能を含めた固定料金又はそれに準ずる分かりやすい体系で提示すること
- 月間の利用可能範囲を超過した場合に、自動で利用料金が増額されないこと
- 一括前払いに対応していること（契約期間終了後に一括支払いできること）

## 10 審査項目／評価の観点

No.	項目	評価の観点
1	実施体制・業務実績 (10点)	自治体業務や行政特有の制約を理解したうえでの提案となっているか。
		複数の自治体における生成 AI 導入の実績があり、その内容が具体的に示されているか。
2	生成 AI サービスの 提案内容 (50点)	仕様書の要件（LGWAN 環境での利用、チャット形式 UI、学習への非利用等）を満たし、初めて使う職員でも分かりやすい UI を提供できるか。
		月間利用可能文字数（9,000 万～1 億文字/月程度）を満たし、超過時の対応方針が明確か。トークン数の考え方が自治体にとって安全で使いやすいか。
		利用状況の可視化、ログ取得・CSV 出力等の管理機能が十分に備わっているか。
		アカウントの登録・更新について、CSV 等を用いた一括処理が可能であり、人事異動期等における管理者の運用負担軽減に十分配慮されているか。
		付加価値のある独自提案（RAG 機能、プロンプトテンプレ

		レート等) があり、本市にとって有益か。
3	セキュリティ (15 点)	入力情報が生成 AI の学習に利用されないこと、データ保存場所が日本国内であることが担保されているか。 自治体業務を前提とした情報セキュリティおよび個人情報保護への配慮が適切に示されているか。
4	運用・保守・サポート (10 点)	管理者及び一般利用者からの問合せに対応するサポート体制 (窓口、対応時間、対応方法等) が十分か。 管理者向け及び一般職員向けのマニュアル・説明資料が適切に提供されるか。
5	学習機会の提供 (5 点)	生成 AI を初めて使う職員にとって必要な基礎知識を得られ、業務活用に活かせる研修内容となっているか。
6	自由提案 (10 点)	本仕様書に定めていない有意義な独自提案があるか。

## 11 その他

- 本仕様書に定めのない事項又は疑義が生じた場合は、発注者と受注者が協議の上決定するものとする